



母の国では 死者は毎年戻ってくる (仮)

日本人の死生観

マリー・ムツキ・モケット著 高月園子訳

四六判並製 384 頁 予価：本体 2000 円+税 ISBN978-4-7949-6914-9 C0095

父を失った悲しみから立ち直れない。
日本人は喪失をどのように乗り越えているのか。
仏教は私に答えをくれるのか？

本書は 3・11 の震災のあと、被災地をはじめ、永平寺、高野山、
恐山など、日本の名だたる寺を訪ね歩き、日本人の死生観を
さぐった記録である。

盆踊り、精霊流し、送り火、夏のお祭り、お盆……人々とともに
それらの行事に立ち会ううちに、著者は少しずつ心の折り合いを
つけていく。

死者を送り、また迎える儀礼は、死の悲しみを乗り越えるための
文化としての装置であった。ふたつの祖国をもつ著者の、
日本文化論であり日本旅行記でもある。

*本書に登場する僧侶、南直哉、金田諦應、丸子孝法、長岡俊成ほか。

【目次】

大災害／寺／お別れ／冬の悪魔／春爛漫／日本列島の仏陀——歴史についての五つ
のレッスン／ともに座して／ともに食して／小さなプリンセス／原子の分離／死者
のゆくえ／あの世／夏の訪問者／霊との告別／秋の紅葉／盲目の霊媒／ダース
ヴェイダー／あの世からのメッセージ



マリー・ムツキ・モケット

著者は日本人の母とアメリカ人の父の間に生まれた。
カリフォルニアで育ち、コロンビア大学を卒業後、
作家として活躍している。「ナショナル・グラフィック
クス」などに寄稿。また 2012 年には NHK のドキュ
メンタリー「亡き人の魂とともに」などに出演。母
のルーツはいわき市の禅寺。

晶文社営業部 **FAX03-3518-4944** 配本申込み〆切 12月20日

新刊委託申込書	取次・貴店印	母の国では死者は毎年戻ってくる (仮)	申込部数	
			冊	
		マリー・ムツキ・モケット著 高月園子訳	展示方法	
	ご担当 様	【死生観・文化論】四六判・384ページ 予価：本体2000円+税 ISBN978-4-7949-6914-9 C0095 1月22日配本予定 晶文社営業部 TEL03-3518-4940	平 台	棚 差 し